

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

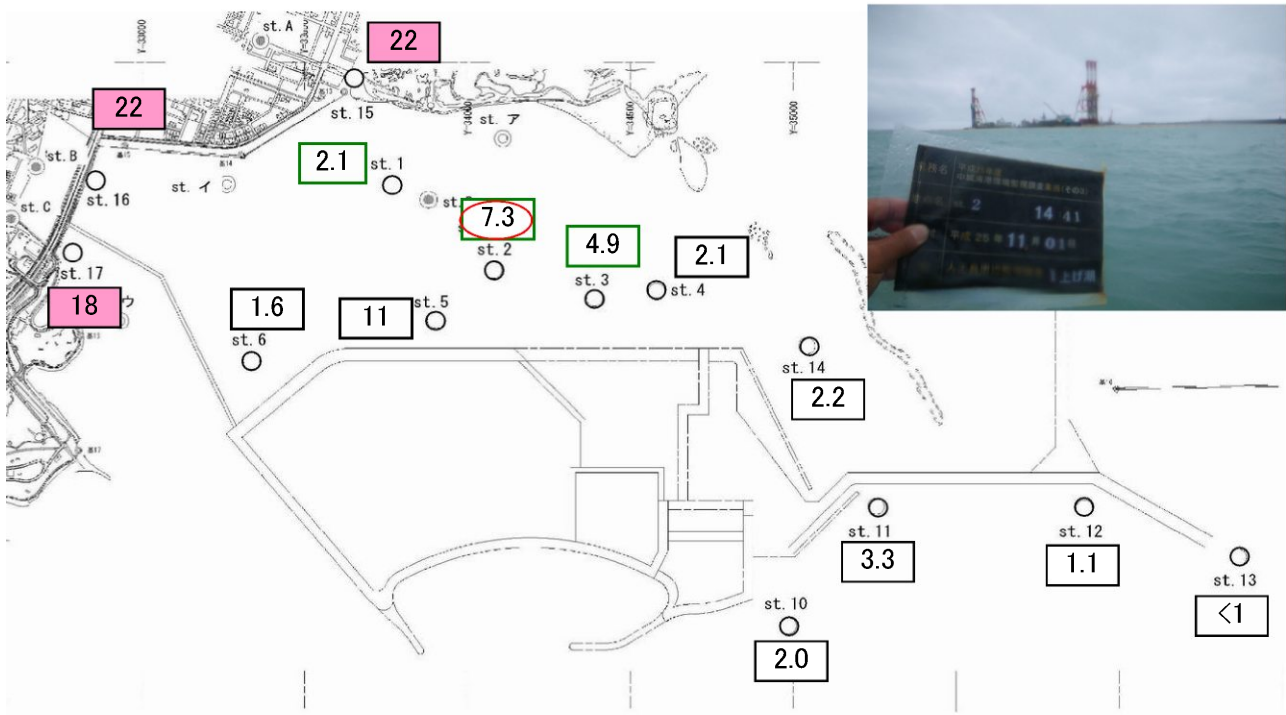
平成 25 年 11 月 1 日 ( 金 )

満潮:17:03 干潮:11:00

14:41

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
pm	雨	ENE ~E	3 ~ 5	上げ潮	中潮

### 【調査位置図】



#### 濁り(SS)監視基準

- 基本監視地点 st.1~3 : 7mg/L   数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
- 補助監視地点 st.4~6、st.10~14 : 11mg/L   濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

(st.15~st.17は流入部なので、基準値は設定されていない。)

工事の状況	海上	木護岸においてSPC船稼動、浚渫、圧送作業が行われていた。
		イニ護岸において捨石均し作業が行われていた。
		仮設棧橋において圧送作業が行われていた。

#### 数値基準を超過した調査区域の状況

- ・現地観測での風向は東北東、風力は3程度、波高は0.2~0.3m程度であった。
- ・木護岸北側、イニ護岸汚濁防止膜周辺において高い濁りが認められた。
- ・強い東の風及び上げ潮の潮の流れにより北西方向へと濁りは拡散し、西側近傍に位置するst.5で最も強く影響を受け高い値を観測した。
- ・st.2においては7.3mg/Lと高い値が観測された。

#### 評価

- ・イニ護岸・木護岸においては、午前、午後と現場濁度測定で、にごりは確認されなかった。
- ・汚濁防止膜外側の濁りが確認されたため工事を一時中止し、現場状況を確認した。
- ・st.2で工事監視基準を超過した要因としては、測定時の水深が1.5m程度と浅く、風向は東北東、風力は3程度あり上げ潮時での東側浅海域からの波浪の影響での底質の巻き上げであると推測される。

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

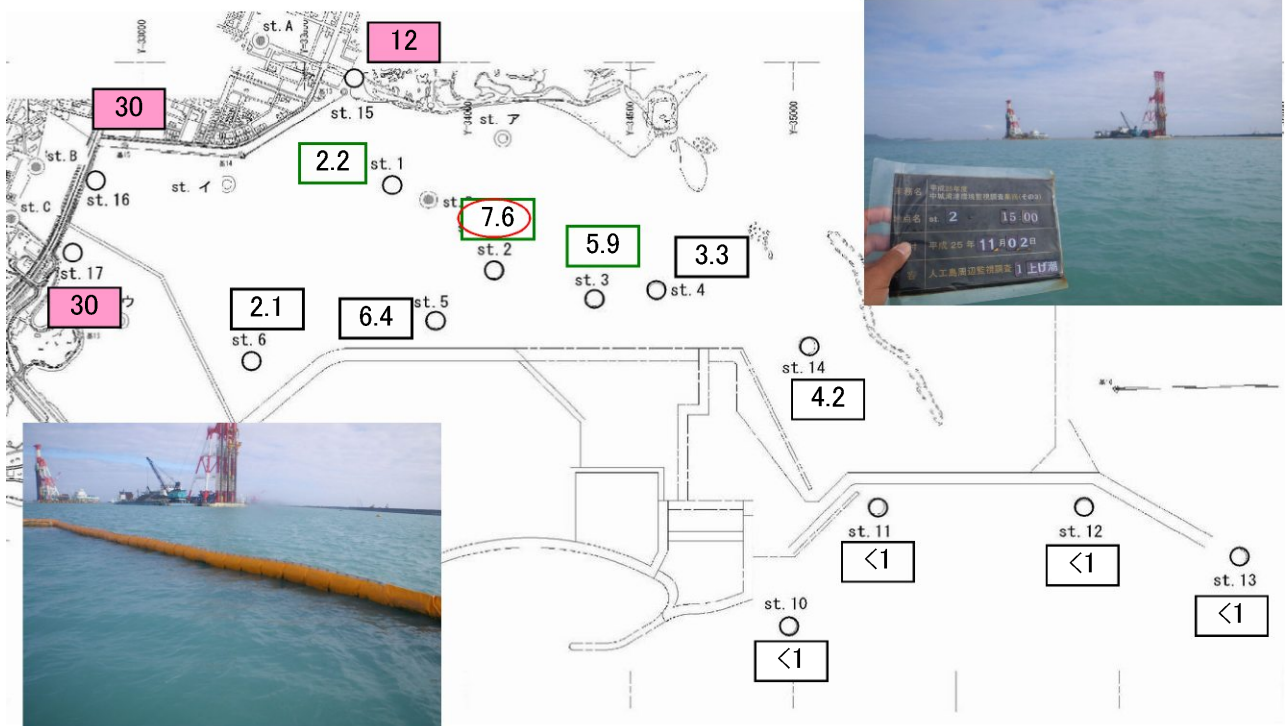
平成 25 年 11 月 2 日 (土)

満潮:17:35 干潮:11:38

15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	pm	晴	SE	2 ~ 4	上げ潮

### 【調査位置図】



#### 濁り(SS)監視基準

- 基本監視地点 st.1~3 : 7mg/L 7.6 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
- 補助監視地点 st.4~6、st.10~14 : 11mg/L 30 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

(st.15~st.17は流入部なので、基準値は設定されていない。)

工事の状況	陸上	イ護岸において裏込石の均し作業が行われていた。
		海上

#### 数値基準を超過した調査区域の状況

- ・現地観測での風向は南東から南南東、風力は2~3程度、波高は0.2~0.3m程度であった。
- ・二護岸の汚濁防止膜前からst.5、st.2、st.3で囲まれた範囲で濁りが確認された。
- ・上げ潮による潮の流れと南の風により、濁りは北北西へと拡散し、st.2においては7.6mg/Lと高い値を観測した。

#### 評価

- ・イニ護岸・ホ護岸においては、午前、午後と現場濁度測定で、にごりは確認されなかった。
- ・海上工事については一時中断し、現場状況を確認した。
- ・st.2で工事監視基準を超過した要因としては、測定時の水深が1.3m程度と浅く、風向は南東から南南東、風力は2~3程度あり、上げ潮時での底質の巻き上げであると推測される。

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

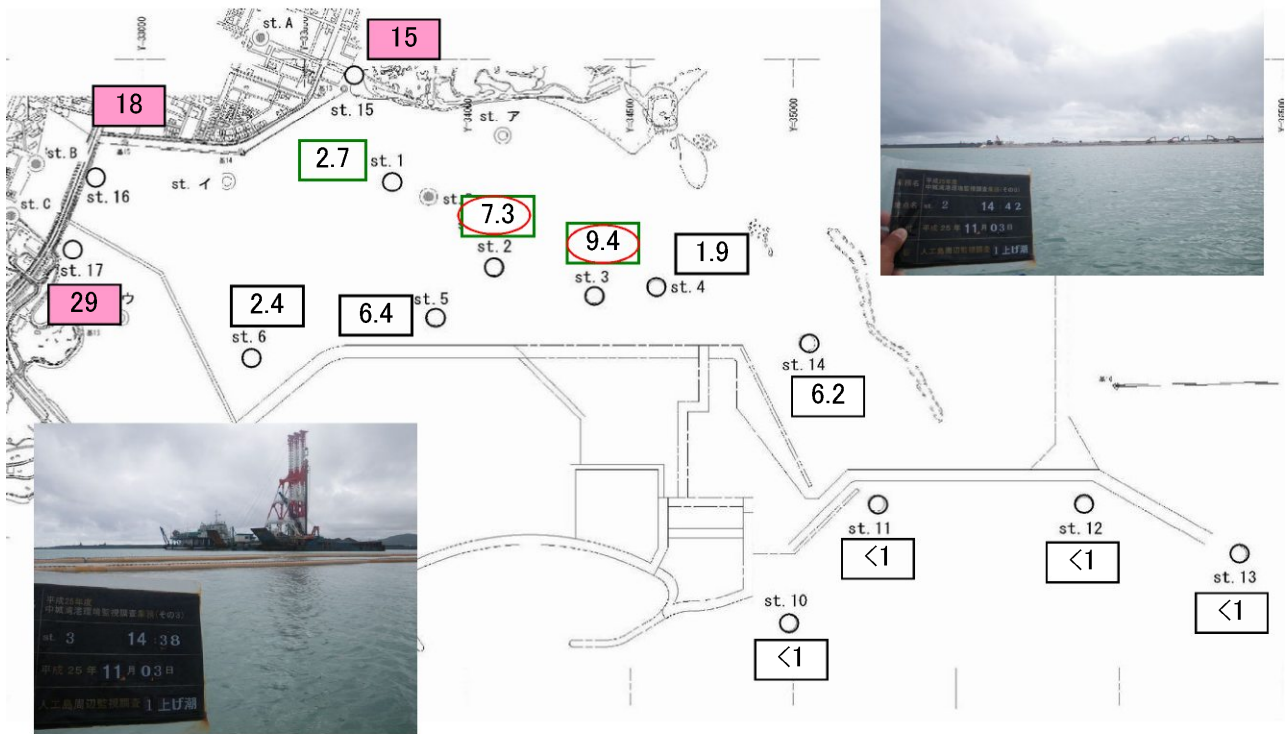
平成 25 年 11 月 3 日 ( 日 )

満潮6:30 干潮12:16

14:42 14:35

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	曇り	SE	2	上げ潮	大潮

### 【調査位置図】



#### 濁り(SS)監視基準

- 基本監視地点    st.1~3                    : 7mg/L                      数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
- 補助監視地点    st.4~6、st.10~14 : 11mg/L                      濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

(st.15~st.17は流入部なので、基準値は設定されていない。)

工事の状況	陸上	イ護岸において裏込石の均し作業が行われていた。
	海上	ホ護岸においてSPC船稼動、浚渫、圧送作業が行われていた。
		仮設棧橋において圧送作業、浚渫が行われていた。

#### 数値基準を超過した調査区域の状況

- ・現地観測での風向は南東、風力は2程度、波高は0.1~0.2m程度であった。
- ・ホ護岸の汚濁防止膜前からst.5、st.2、st.3で囲まれた範囲で濁りが確認された。
- ・ホ護岸の汚濁防止膜の近くでは、より高い濁りが観測された。
- ・上げ潮による潮の流れと南東向きの風により、濁りは北西へと拡散し、st.2については7.3mg/L、st.3においては9.4mg/Lと高い値が観測された。

#### 評価

- ・イニ護岸・ホ護岸においては、午前、午後と現場濁度測定で、にごりは確認されなかった。
- ・海上工事については一時中断し、現場状況を確認した。
- ・st.2、3で工事監視基準を超過した要因としては、測定時の水深が0.9、1.5m程度と浅く、風向は南東、風力は2程度あり、上げ潮時での海底の砂の巻き上げであると推測される。

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 25 年 11 月 4 日 ( 月 )

満潮 7:12 干潮12:54

14:35

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
pm	曇	N	2	上げ潮	大潮

### 【調査位置図】



#### 濁り(SS)監視基準

- 基本監視地点 st.1~3 : 7mg/L
- 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
- 補助監視地点 st.4~6、st.10~14 : 11mg/L
- 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

(st.15~st.17は流入部なので、基準値は設定されていない。)

工事の状況	海上	
		木護岸においてSCP船稼働、浚渫、圧送作業が行われていた。
		イ護岸において被覆石の均し作業が行われていた。
		仮設棧橋において圧送作業、浚渫が行われていた。

#### 数値基準を超過した調査区域の状況

- ・現地観測での風向は北、風力は2程度、波高は0.2m程度であった。
- ・木護岸の汚濁防止膜外側からst.3までの範囲で濁りが確認された。
- ・木護岸の汚濁防止膜外側付近は、より高い濁りが観測された。
- ・木護岸の汚濁防止膜付近から濁りは拡散し、st.3において12.0mg/Lと高い値が観測された。

#### 評価

- ・木護岸においては、午後の現場濁度測定時にst.3付近で12.0mg/Lと観測され、高いにごりが確認された。
- ・当日の海上作業については海上工事を中止した。
- ・st.3で工事監視基準を超過した要因として、木護岸工事箇所の汚濁防止膜から上げ潮時に濁りが拡散することによると推測された。

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

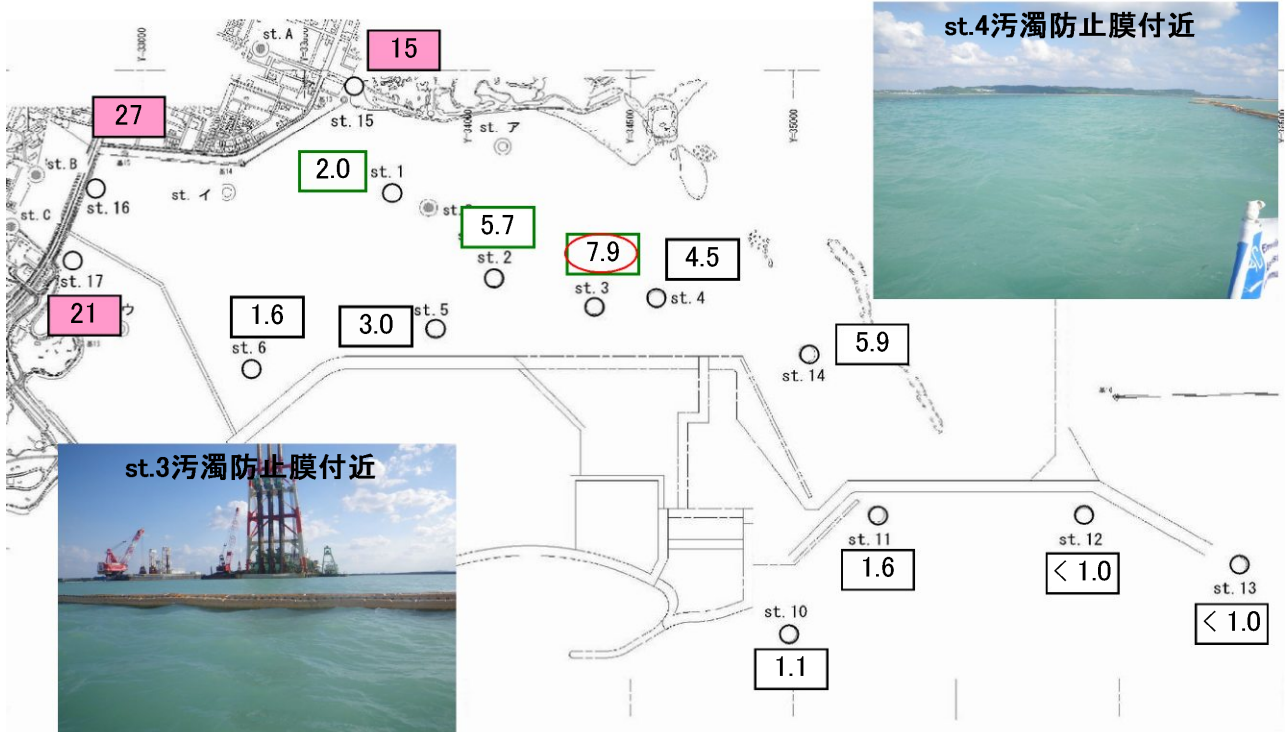
平成 25 年 11 月 18 日 ( 月 )

満潮:7:17 干潮:12:54

15:02

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
pm	晴	NW ~ NNW	3 ~ 4	上げ潮	大潮

### 【調査位置図】



#### 濁り(SS)監視基準

- 基本監視地点    st.1~3                    : 7mg/L                      数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
- 補助監視地点    st.4~6、st.10~14 : 11mg/L                      濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点

(st.15~st.17は流入部なので、基準値は設定されていない。)

工事の状況	陸上	二護岸においてバックホウによる陸上部の捨石均し作業が行われていた。
	海上	仮設栈橋において圧送作業、汚濁防止膜横で潜水作業が行われていた。

#### 数値基準を超過した調査区域の状況

- ・現地観測での風向は北西、風力は3~4程度、波高は0.1~0.3m程度であった。
- ・st.3近くの木護岸汚濁防止膜外側で高い濁りが確認され、st.3においては7.9mg/Lが観測された。
- ・北西の風により、濁りは汚濁防止膜に沿って帯となって東側の沖合へと拡散し、風下側のst.4やst.14などはその影響で高い値を示した。

#### 評価

- ・当日、二護岸においては陸上部の被覆石均し、木護岸においては海上作業は行っておらず、濁りの発生する作業は行われていなかった。
- ・海上工事については一時中断し、現場状況を確認した。
- ・st.3で工事監視基準を超過した要因としては、測定時の水深が2.0m程度であったが、風向は北西、風力は3~4程度あり上げ潮時での北側浅海域からの波浪の影響での底質の巻き上げであると推測される。